

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1		実施主体	子育て支援課 子育て推進課 スポーツ振興課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	幼児期の運動遊び啓発事業					
取り組み内容	講座や刊行物の発行等、保護者に対する運動の重要性や取り組み方法の啓発について検討、実施する。					
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	実施				→	
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	マイ保育園登録者への情報誌や相談センターだより等を活用して、定期的に保護者への啓発を行い、育児講座や子育てひろばで発育に合わせた動きを取り入れた運動や遊びを提供した。			

 施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-3		実施主体	子育て支援課 子育て推進課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	乳幼児及び子育て家庭への身体づくりの推進					
取り組み内容	A: 乳幼児及び保護者を対象に、ボランティアや大学生、ホームタウンチームによる身体活動の指導や交流を行う。 B: 市立保育園の保育士を対象に、身体づくり・体育遊びに関する研修を行う。					
事業目標	指標	啓発活動の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	計画作成	A: 年5回 B: 年5回	A: 年5回 B: 年5回	A: 年10回 B: 年10回	A: 年10回 B: 年10回	
実施状況	A: 年38回 B: 年5回	A: 年22回 B: 年5回	A: 年9回 B: 年5回	A: 年11回 B: 年5回	A: 年14回 B: 年5回	
達成状況	△	総括	ホームタウンチームによる指導は継続的に積み重ね、日々の保育につなげることが出来ました。園での交流の様子を保護者に伝えることで身体づくりへの理解を得られている。			

 施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-2		実施主体	指定管理者		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	指定管理者による幼児スポーツ教室事業					
取り組み内容	幼児を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。 ・総合体育館: ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5~6歳児対象) ・サン町田旭体育館: ちびっ子体操教室(4歳児対象)、わんぱく体操教室(5~6歳児対象) ・室内プール: 幼児スクール※自主事業 ・成瀬クリーンセンターテニスコート: キンダークラス(4~6歳児対象)※自主事業等					
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	4,670名		
			目標水準	5,170名		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	4,770名	4,870名	4,970名	5,070名	5,170名	
実施状況	5,979名	7,016名	9,185名	8,698名	6,603名	
達成状況	◎	総括	指定管理者が創意工夫を重ね、教室事業を実施し、目標を大幅に達成することができた。			

 施策1：地域におけるスポーツ推進
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	1-4		実施主体	児童青少年課		
推進施策	幼児期における積極的な身体活動の推進					
事業名	幼児・親子向けプログラム(フィットネス、レクリエーション)					
取り組み内容	当事業は、利便性が高く、日ごろから多くの子どもや親子の利用がある子どもセンターにて実施する。 市内の子どもセンターで、幼児とその保護者を対象とした身体を動かすプログラム(フィットネス、レクリエーション)を定期的に実施する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	実施				→	
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	事業は定着しており、今後も充実を図っていきたい。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-5		実施主体	児童青少年課		
推進施策	子ども居場所づくりと連携した身体活動の推進					
事業名	スポーツを通じた世代間交流事業					
取り組み内容	当事業は、小学生から高校生までが集える「子どもセンター」及び小学生の放課後の遊び場見守り事業「まちとも」の活動場所以て実施する。 ・高校生が、小・中学生にスポーツの指導をする機会を設ける。 ・地域スポーツクラブによるスポーツ教室と連携し、小・中学生がスポーツを体験する機会を設ける。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	企画	実施			→	
実施状況	企画	企画実施	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	2018年度も利用者である子どもたちの意見を取り入れ、様々なスポーツや身体を動かす遊びの機会を設けました。今後も更なる拡充を図っていきたい。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-7		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	食育推進事業					
取り組み内容	栄養学講義や調理実習、就農体験等の食に関するイベント、教室、スポーツ団体の行う事業に対し、支援を行う。					
事業目標	指標	教室・イベント等の実施数	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回	→	年2回	→	年3回	
実施状況	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	
達成状況	△	総括	事業としては定着したが、目標を達成することができなかった。今後は、保健所と連携を図りながら食育を推進していく。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-6		実施主体	指導課		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	学校教育へのスポーツ指導員の活用事業					
取り組み内容	スポーツ指導員登録制度を利用し、小・中学校のクラブ活動・部活動における各種スポーツの指導者や体育の指導補助者として、スポーツ指導員を学校に派遣する。					
事業目標	指標	スポーツ指導員登録制度の活用	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	—	検討	実施		→	
実施状況	—	—	/	/	/	
達成状況	△	総括	スポーツ指導員登録制度の制度設計ができず、事業実施に至らなかった。次期計画では、実施可能かつ効果的な方法を検討する必要がある。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-8		実施主体	町田市子どもマラソン大会実行委員会		
推進施策	学齢期のスポーツの推進					
事業名	町田市子どもマラソン大会					
取り組み内容	児童を対象に、陸上競技場でマラソン大会を行う。					
事業目標	指標	大会参加人数	計画初期値	1,570人		
			目標水準	2,200人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	1,850人	1,900人	2,000人	2,100人	2,200人	
実施状況	1,893人	2,058人	2,227人	2,188人	2,124人	
達成状況	○	総括	大会の魅力向上と広報活動に努めたが、参加人数は伸び悩んだ。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-9		実施主体	保健企画課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり推進事業				
取り組み内容	健康づくり推進員研修において、正しい歩き方や靴の選び方などウォーキングに関する研修を実施する。				
事業目標	指標	スポーツに関連する研修の実施回	計画初期値 目標水準	年1回 年1回	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年1回			見直し 実施	
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
達成状況	○	総括	継続して目標を達成することができた。研修内容が非常に好評だったこともあり、運動を通じた健康づくりの実現につながるものになったと捉えている。		

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-10		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	親子栄養講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講習会実施回数	計画初期値 目標水準	年1回 増加	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年1回		見直し 実施		
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
達成状況	○	総括	継続して目標を達成することができた。参加者のニーズに合わせて、日常生活でも継続可能な望ましい食生活と運動との関わりについて今後も提案していく。		

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-11		実施主体	健康課 健康推進課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康教育講座				
取り組み内容	運動に関する講演会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値 目標水準	年1回 増加	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年1回		見直し 実施		
実施状況	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
達成状況	○	総括	計画どおり年1回実施し、目標を達成できた。今後も引き続き、運動と生活習慣病の関係の啓発や日常生活に組み込める運動等の周知を図る。		

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-12		実施主体	健康課 保健予防課	
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進				
事業名	健康づくり講習会				
取り組み内容	講習会を実施する。				
事業目標	指標	講演会実施回数	計画初期値 目標水準	年4回 増加	
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年4回	年2回	見直し 実施		
実施状況	年4回	年2回	年2回	年2回	年2回
達成状況	○	総括	継続して目標を達成することができた。参加者のニーズに合わせて、日常生活でも継続可能な運動内容を今後も提案していく。		

施策1：地域におけるスポーツ推進
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】健康づくりと連携したスポーツの推進					
事業名	講師派遣事業					
取り組み内容	地域で健康づくりに取り組んでいる団体に対してスポーツ実技や食育、心の健康等に関する知識のある講師を派遣する。					
事業目標	指標	講師派遣実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	実施			→	
実施状況	検討	検討	1箇所交渉	未実施	未実施	
達成状況	△	総括	体育協会との事前調整が十分でなかったため、制度設計に至らなかった。次期計画では、ニーズ把握も含めて見直す必要がある。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-14		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	既存施設の利用時間の延長等					
取り組み内容	・指定管理者が自主事業として行っている利用時間延長等の取り組みを制度化し、継続する。 ・利用時間の延長を検討する。(屋外スポーツ施設については、夜間照明設備整備に合わせて利用時間延長をする必要がある。)					
事業目標	指標	利用時間を変更した施設数	計画初期値	2施設		
			目標水準	増加		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	条例改正(必要に応じて)	施行		→	
実施状況	現在実施している取組の継続 利用時間延長の検討	実施検討	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	夜間照明設備を設置し、利用時間の延長を図った。次期計画では、継続してこの事業に取り組む。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-15		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存施設の利用時間の延長					
事業名	夜間照明施設整備事業					
取り組み内容	小野路球場をはじめとする市内の既存スポーツ施設に、夜間照明設備を整備する。					
事業目標	指標	夜間照明設置箇所数	計画初期値	7箇所		
			目標水準	12箇所		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討・調整	検討・調整設計	5箇所設置 (計12箇所)	—	—	
実施状況	検討・調整	検討・調整一部設計	1箇所設置	1箇所整備 計画策定	2箇所目 地質調査 実施	
達成状況	△	総括	2017年度に策定した小山上沼調整池スポーツ施設整備基本計画に基づき、夜間照明設備設置の設計を行うための地質調査を行った。次期計画では、継続してこの事業に取り組む。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-16		実施主体	指定管理者		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	指定管理者による親子スポーツ教室事業					
取り組み内容	親子を対象とした教室を開催し、教室参加者を増やす。					
事業目標	指標	教室参加者数	計画初期値	2,221名		
			目標水準	2,450名		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	2,250名	2,300名	2,350名	2,400名	2,450名	
実施状況	4,758名	4,694名	5,631名	7,405名	7,720名	
達成状況	◎	総括	指定管理者が創意工夫を重ね、教室事業を実施し、目標を大幅に達成することができた。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-17		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	スポーツ施設の親子利用促進					
取り組み内容	親子が利用できる施設の提供と周知を行う。					
事業目標	指標	スポーツ施設の親子 利用促進		計画初期値	事業実施	
				目標水準	継続	
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	実施 施設PR方法 の検討					→
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	各指定管理者が親子でスポーツを楽しむことができる環境や機会を提供した。今後も事業を継続・見直しを行い、利用促進に努める。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-18		実施主体	地域スポーツクラブ		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	地域一体型ファミリースポーツ推進事業					
取り組み内容	・地域スポーツクラブにおけるファミリー対象イベントを活性化させる。 (例:体験イベント⇒定期イベント) ・エリア内の地域スポーツクラブと町内会自治会が共同で開催するファミリー対象イベント(ウォーキング等の簡単なものから、地域運動会まで)を実施する。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	企画・実施					→
実施状況	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	企画・実施	
達成状況	○	総括	一部の地域スポーツクラブが地域住民を対象に多種目のスポーツ体験イベントを開催した。今後も継続して地域スポーツクラブの活動を支援していく。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-19		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
推進施策	ファミリースポーツの推進					
事業名	スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業					
取り組み内容	・ドッチビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。					
事業目標	指標	事業の実施回数		計画初期値	年3回	
				目標水準	年6回	
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	年5回			年6回	→	
実施状況	年8回	年6回	年6回	年6回	年5回	
達成状況	△	総括	毎年誰でも楽しむことができるスポーツを検討し、種目を再構築しながら事業を実施した。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
(2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-20		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発					
事業名	民間プログラム連携事業					
取り組み内容	民間スポーツクラブと提携し、働く人のライフスタイルに合わせて民間スポーツ施設を利用できる制度(利用助成)を検討し、実施する。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施計画	検討			実施	→	
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施	
達成状況	△	総括	事業の連携先の選定ができず、制度設計に至らなかった。次期計画では、民間事業者との連携の必要性も含めて見直す。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-21		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発					
事業名	学校温水プールでの教室事業					
取り組み内容	学校温水プールの夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催する。					
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	→	実施	→
実施状況	検討	検討	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	無料レッスンを実施し、利用者の定着に努めた。今後は、施設ごとに利用者のニーズを調査し、より良い事業を実施できるように引き続き検討を行う。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (2) 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-22		実施主体	指定管理者		
推進施策	働き盛りの人のためのプログラムの開発					
事業名	指定管理者による勤労者スポーツ教室事業					
取り組み内容	夜間時間帯や土・日・祝日を中心に、働き盛りの年代を対象にした教室を開催し、教室参加者を増やす。					
事業目標	指標	働き盛りの人を対象とした教室の実施	計画初期値	2,226名		
			目標水準	2,500名		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			2,300名	2,350名	2,400名	2,450名
実施状況	5,751名	7,422名	6,623名	8,622名	5,480名	
達成状況	◎	総括	指定管理者が創意工夫を重ね、教室事業を実施し、目標を大幅に達成することができた。※室内プール休館のため参加者数減。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-23		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	高齢者スポーツ普及事業					
取り組み内容	既存の団体で新たにゲートボール及びグラウンドゴルフの活動を始める者に対し、用具の貸与を行う。					
事業目標	指標	用具貸出件数	計画初期値	6件		
			目標水準	8件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			6件	→	7件	→
実施状況	6件	2件	6件	1件	3件	
達成状況	△	総括	既存団体において用具貸出の需要は低く、また、新たに活動を始める者が減少していると思われるため、目標未達成の結果となった。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-24		実施主体	高齢者福祉課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	ロコモティブシンドローム対策事業					
取り組み内容	ロコモティブシンドロームに関する知識や体操の啓発を行う。					
事業目標	指標	講習会参加人数	計画初期値	468人		
			目標水準	500人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			460人	470人	480人	490人
実施状況	423人	413人	471人	235人	141人	
達成状況	△	総括	ロコモティブシンドロームに関する講習会を実施してきたが、「町トレ」事業において、予防を含めた知識の啓発と体操グループの立ち上げ、継続支援を開始し、一定の成果があった。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-25		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	スポーツ指導員育成事業					
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	検討	検討	未実施	未実施	
達成状況	△	総括	ニーズ調査等が不十分で制度設計に至らなかった。次期計画では、地域スポーツクラブの自主的な資格等の取得と地域での活動を支援していく。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	1-26		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
推進施策	【重点施策】高齢者を対象としたスポーツの推進と指導員の育成					
事業名	【再掲】スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業					
取り組み内容	・ドッジビー、ネオテニス、卓球、バドミントンなど、年齢を問わず誰でも楽しむことができる種目を複数行う。 ・これまで実施してきている「スポーツにチャレンジ」を、児童の親だけでなく祖父母の参加を促すことで、ファミリースポーツの場として広めていく。					
事業目標	指標	事業の実施回数	計画初期値	年3回		
			目標水準	年6回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			年5回		年6回	
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年8回	年6回	年6回	年6回	年5回	
達成状況	△	総括	毎年誰でも楽しむことができるスポーツを検討し、種目を再構築しながら事業を実施した。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-27		実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	障がい者スポーツ大会					
取り組み内容	様々な機関と連携を図り、毎年1回、障がい者スポーツ大会を開催する。					
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年1回		
			目標水準	年1回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			年1回			
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	
達成状況	○	総括	障がい福祉課、スポーツ振興課で連携を図りながら事業を実施し、目標を達成することができた。今後も継続して事業を実施する。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-28		実施主体	障がい福祉課		
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進					
事業名	障がい児スポーツ教室事業					
取り組み内容	年間30回以上を目標に、障がい児スポーツ教室を開催する。					
事業目標	指標	事業の継続	計画初期値	年30回以上		
			目標水準	年30回以上		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			年30回以上			
実施状況	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	年35回	年35回	年36回	年35回	年31回	
達成状況	○	総括	すみれ会館温水プールではプール設備の不調により3回中止となったが、運営体制の維持に努め、目標を達成することができた。今後も継続して事業を実施する。			

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-29		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障がい者スポーツ教室事業				
取り組み内容	障がいのある方のスポーツに対するニーズを把握し、新たな教室を実施する。教室の実施に際しては、参加希望の方に対して事前相談を行い、それぞれの実情に応じた指導ができるようにする。				
事業目標	指標	新たな教室の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施		→
実施状況	一部実施	実施	実施	実施	実施
達成状況	○	総括	障がい者を対象とした教室事業を行い、より多くの方にスポーツをする機会を提供することができた。		

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-30		実施主体	指定管理者	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	障害者スポーツ指導員配置事業				
取り組み内容	市内スポーツ施設に障害者スポーツ指導員を配置する。				
事業目標	指標	スポーツ施設への障害者スポーツ指導員の配置	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→	実施		→
実施状況	調査	一部実施	一部実施	実施	実施
達成状況	○	総括	指定管理者に障がい者スポーツ指導員の資格取得を促し、各施設で配置、目標を達成することができた。		

施策1：地域におけるスポーツ推進
 (4) 障がいのある人のスポーツ推進

番号	1-31		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】障がい者スポーツの推進				
事業名	【再掲】スポーツ指導員育成事業				
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。				
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—	
			目標水準	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	実施			→
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施
達成状況	△	総括	ニーズ調査等が不十分で制度設計に至らなかった。次期計画では、地域スポーツクラブの自主的な資格等の取得と地域での活動を支援していく。		

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-1		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	地域学校開放推進事業				
取り組み内容	既存の学校施設を、地域のスポーツ活動拠点として位置づけ、地域スポーツクラブを設立する。その中で必要に応じて、シャワー・トイレ・更衣室・ミーティングルーム等を備えたクラブハウス機能を整備する。				
事業目標	指標	クラブハウス機能が整備された数	計画初期値	2箇所	
			目標水準	10箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	新規3箇所 (計5箇所)	新規2箇所 (計7箇所)	新規3箇所 (計10箇所)	—	—
実施状況	1箇所 (計3箇所)	1箇所 (計4箇所)	設計1箇所 (計4箇所)	1箇所 (計5箇所)	整備にむけての検討
達成状況	△	総括	クラブハウスを5箇所整備した。今後は、地域スポーツクラブの設立状況に応じてクラブハウス機能を整備するか検討していく。		

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-3		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】ストリート系スポーツの場の整備				
事業名	スケートパーク整備事業				
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、安全に楽しむためのルールづくりや管理運営の方法について検討する。				
事業目標	指標	スケートパーク整備のための検討	計画初期値	—	
			目標水準	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				
実施状況	検討	検討	検討	検討	検討
達成状況	○	総括	第二次野津田公園整備基本計画で予定されているスケートパークの整備に向けて、管理運営の方法について引き続き検討していく。		

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-2		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	【重点施策】地域スポーツ推進のためのクラブハウス等の整備				
事業名	学校施設・備品改善事業				
取り組み内容	・学校施設の修繕や、学校開放に関連する備品の購入をスポーツ振興課で実施できる事務体系を構築する。 ・地域スポーツクラブ整備校を中心に施設修繕や備品購入を実施し、地域のスポーツ活動拠点としてのPRも一体的に図る。				
事業目標	指標	学校施設開放利用登録者数	計画初期値	11,000人	
			目標水準	13,500人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	11,500人	12,000人	12,500人	13,000人	13,500人
実施状況	9,700人	9,298人	8,861人	9,421人	9,682人
達成状況	△	総括	学校教育部等と調整を行い、制度設計を行った。事業内容と成果指標が対応していないため、次期計画では成果指標を見直す。		

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-4		実施主体	公園緑地課	
推進施策	公園・緑地等の芝生の整備				
事業名	公園・緑地等の芝生整備事業				
取り組み内容	公園・緑地等で芝生の整備が可能な場所を検討し、整備する。				
事業目標	指標	芝生の整備	計画初期値	—	
			目標水準	検討	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討				
実施状況	検討	検討	基本設計	実施設計	整備工事着手
達成状況	◎	総括	芹ヶ谷公園の拡張区域である都営住宅跡地に芝生広場を設けることとし、整備工事に着手した。		

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	高架下スペースのスポーツ利用					
取り組み内容	小山沼陸橋高架下スペースの一部について、地域と調整し、スポーツ利用できるように整備する。					
事業目標	指標	スポーツ利用のための整備		計画初期値	—	
				目標水準	1箇所	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		検討			→	1箇所
実施状況	検討	検討	整備内容の決定	1箇所	工事・1箇所	
達成状況	○	総括	高架下スペースの一部をスポーツ利用できるよう整備し、供用開始した。今後も引き続き地元と協力し、施設の管理運営を行っていく。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	法政スポーツ教室事業					
取り組み内容	・大学と市との協定にもとづき、共催で、在住・在勤・在学者及び大学近隣住民を対象に、初心者から上級者まで参加できるスポーツ教室を開催する。 ・ニーズに合った教室を開催するとともに教室情報を広く市民に普及できるように、大学と協力して方策を検討・実施する。					
事業目標	指標	延べ参加者数		計画初期値	233人	
				目標水準	250人	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		240人			→	250人
実施状況	282人	289人	291人	331人	367人	
達成状況	◎	総括	事業の広報活動を積極的に行い、事業の周知が進んだため、目標を大幅に達成することができた。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	東京家政学院大学テニスコート開放事業					
取り組み内容	大学と市との協定にもとづき、大学のテニスコートを大学が使用しない日・時間に限り、大学周辺の相原町・小山町・小山ヶ丘在住の地域住民を中心に、無料で開放する。					
事業目標	指標	年間利用率		計画初期値	47%	
				目標水準	70%	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		50%	55%	60%	65%	70%
実施状況	48.1%	61.5%	60.2%	48.0%	60.5%	
達成状況	△	総括	広報活動と施設利用状況の改善に努めたが、目標を達成できなかった。今後も大学との協力関係を継続し、事業を実施していく。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり

(1) 地域スポーツの場の整備

番号	2-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	新たなスポーツ利用の場や機会の創出					
事業名	大学連携推進事業					
取り組み内容	既に連携協力を行っている法政大学・東京家政学院大学以外の市内大学と連携協力し、大学施設を市民が利用できる仕組みを検討・実施する。					
事業目標	指標	市と連携協力している大学数		計画初期値	2大学	
				目標水準	増加	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
		検討	→	協定締結実施		→
実施状況	検討	検討	検討	検討	検討	
達成状況	△	総括	大学施設利用の連携は難しく、目標を達成できなかった。次期計画では人材活用等のソフト面での連携を含めて検討していく。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
(2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-9		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】まちだ地域スポーツクラブモデル事業の推進					
事業名	地域スポーツクラブ設立・運営推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校を拠点に、学校開放制度を運営している学校開放運営委員会、及び制度を利用している各利用団体を中心に地域スポーツクラブ設立を働きかける。 クラブの設立及び運営に向けて、クラブハウス管理運営委託及び地域スポーツクラブ事業運営補助を実施する。 					
事業目標	指標	地域スポーツクラブ整備数	計画初期値	4団体		
			目標水準	20団体		
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
実施計画	新規3団体 (計7団体)	新規2団体 (計9団体)	新規3団体 (計12団体)	新規4団体 (計16団体)	新規4団体 (計20団体)	
実施状況	1団体 (計5団体)	2団体 (計7団体)	1団体 (計8団体)	0団体 (計8団体)	1団体 (計9団体)	
達成状況	△	総括	学校開放運営委員会を中心に地域スポーツクラブ設立を呼びかけたが、目標を達成できなかった。次期計画では地域スポーツクラブの会員増を推進する。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
(2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-11		実施主体	児童青少年課(ひなた村)		
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進					
事業名	キンボールスポーツ事業					
取り組み内容	年間通じ、ひなた村で教室を前期、後期それぞれ8回、また教室のフォローアップとして10回、1時間ずつ、水曜日に実施している。また、ひなた村のプログラムサービス事業として、地域の学校の学年行事として、またPTAや子ども会からの要請で、学校の体育館を利用し、年間約10校にてキンボール事業を実施しており、事業の拡充を検討する。					
事業目標	指標	プログラムサービス事業実施校	計画初期値	10校		
			目標水準	15校		
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
実施計画	11校	12校	13校	14校	15校	
実施状況	10校	14校	14校	17校	13校	
達成状況	△	総括	2018年度より、新たに町田地域のまちとも委員向けに体験会を実施した。今後町田地域以外のまちとも委員にも拡充して広報していきたい。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
(2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-10		実施主体	スポーツ推進委員		
推進施策	【重点施策】「まちだニュースポーツ」の推進					
事業名	まちだニュースポーツ推進事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ニュースポーツの研究及び市内におけるニュースポーツ活動の状況を把握する。 推進する種目の選定及び事業の実施を行う。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
実施計画	企画・検討	→	実施	→	→	
実施状況	検討	企画・検討	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	複数種目のニュースポーツ事業を実施した。今後は、推進種目を絞りこみ、市全体で推奨していく体制を確立していく。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
(2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-12		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	大学との協定の締結					
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。 					
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—		
			目標水準	3大学		
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
実施計画	制度設計・調整	→	新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)	
実施状況	検討	検討	新規2大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)	3大学	
達成状況	○	総括	3大学と連携した取り組みを行い、目標を達成することができた。今後は、構築した関係性を継続し、スポーツに関わる人材育成連携に努める。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-13		実施主体	町田市体育協会		
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	スポーツ指導員登録制度事業					
取り組み内容	スポーツ指導員の登録制度を確立し、市内の団体、部活動等の学校における活動、地域スポーツクラブ及び地域活動へ指導員を紹介する。					
事業目標	指標	登録制度の実施	計画初期値		—	
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施	
達成状況	△	総括	関係団体との調整ができず、制度設計に至らなかった。次期計画では、地域スポーツクラブが主体となり地域で活動できるように支援していく。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-14		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ指導員の充実					
事業名	〔再掲〕スポーツ指導員育成事業					
取り組み内容	官公庁や、各種団体によって開催されているスポーツ指導員育成のための研修会等に参加するための費用や、スポーツ指導に関連した資格取得のための費用を助成する。					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値		—	
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	実施		
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施	
達成状況	△	総括	関係団体との調整ができず、制度設計に至らなかった。次期計画では、地域スポーツクラブが主体となり地域で活動できるように支援していく。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (2) 地域スポーツの仕組みづくり

番号	2-15		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり					
事業名	スポーツボランティア活性化事業					
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。					
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数	計画初期値		—	
			目標水準	1,200人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			600人	750人	900人	1,050人
実施状況	2,000人	2,500人	2,300人	2,788人	2,947人	
達成状況	◎	総括	団体終了後にボランティア活動をした人々と、ボランティア活動をしてほしい団体とを結びつけることがスムーズにできるようになり、毎年右肩上がりで活動人数も増えている。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-16		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	屋外スポーツ施設維持管理事業					
取り組み内容	・屋外スポーツ施設の維持管理計画を策定する。 ・計画に基づき、維持管理・修繕を進める。					
事業目標	指標	計画に基づく施設整備・修繕の実施	計画初期値		—	
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
			検討	維持管理 計画策定	施設維持 ・修繕	
実施状況	検討	一部修繕	一部修繕 ・検討	一部修繕 ・検討	一部修繕 ・検討	
達成状況	△	総括	老朽化した屋外スポーツ施設の一部修繕を行った。維持管理計画については、財政状況の影響が大きく、策定に至らなかった。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-17		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	スポーツ広場の再編成・整備事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場の施設整備方針に基づく整備を行う。 ・施設案内予約システム及び使用料の有料化を導入する。 ・民間活力による(PFI等)手法の導入等、効率的な整備推進を検討する。 ・地域スポーツクラブ設立や指定管理者等による新たな管理運営の視点を検討する。 					
事業目標	指標	スポーツ広場の施設整備及び管理運営の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 2018年度
実施計画	方針決定	計画策定	利用団体との調整	設計	整備工事	
実施状況	決定	方針決定	1件着手	実施設計工事	工事供用開始	
達成状況	○	総括	1施設整備を行い、目標を達成することができた。次期計画では、スポーツをする場の環境整備事業として継続して取り組む。			

施策2：「市民スポーツ」の環境づくり
 (3) 既存スポーツ施設の有効活用

番号	2-18		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	既存スポーツ施設の有効利用					
事業名	利用種目の見直し					
取り組み内容	寄せられた要望を研究し、多くの市民にとって利用しやすい運用を検討する。利用可能種目を見直し、施設案内予約システムの仕様を変更する。					
事業目標	指標	利用種目の見直しの実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 2018年度
実施計画	検討					実施
実施状況	検討	検討	検討	検討	検討	検討
達成状況	△	総括	関係部署と協議し、一部指定管理者施設で利用種目見直しの試行を行い、効果の検証を行う。今後は、対象施設を拡大していく。			

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-1		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充						
事業名	ホームタウン活動マッチング事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域祭事や地域貢献活動に関わる自治会町内会などの地域団体に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。 ・市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。 ・ホームタウンチームのホームタウン活動について、広報の支援を行う。 						
事業目標	指標	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等へのホームタウンチームの参加回数	計画初期値	70回			
			目標水準	140回			
実施計画	指標	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等へのホームタウンチームの参加回数	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			80回	90回	100回	120回	140回
実施状況			139回	145回	222回	144回	242回
達成状況	○	総括	ホームタウンチームと地域との連携・交流の機会の創出に努め、目標を達成することができた。				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

番号	3-3		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化						
事業名	ホームゲーム開催周知連携事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームタウンチームと町内会・自治会や商店街、学校等をマッチングし、ホームゲームの開催周知や観戦招待などの取り組みを支援する。 ・ホームタウンチームや、その運営を支えるボランティアが行う街頭周知活動等の取り組みについて、周知機会の提供やマッチング等により支援する。 						
事業目標	指標	ホームタウンチームホームゲームの年間観戦者数	計画初期値	69,503人			
			目標水準	17万人			
実施計画	指標	ホームタウンチームホームゲームの年間観戦者数	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			8万人	10万人	12万人	14万人	17万人
実施状況			70,345人	107,585人	131,181人	96,337人	130,855人
達成状況	△	総括	様々な手段でホームゲーム開催周知に努めたが、目標を達成することができなかった。今後は、より一層効果的な方法を検討し、支援を継続する。				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

番号	3-2		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	市内小・中学校との連携促進						
事業名	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等を対象に、ホームタウンチームの主催する出前スポーツ教室とマッチング等を行い、支援する。 ・出前スポーツ教室の内容を拡充し、単なる競技だけでなく、スポーツ栄養学や職場体験、職業講座などの新たな取り組みも支援していく。 						
事業目標	指標	ホームタウンチームによる出前スポーツ教室等の延べ実施回数	計画初期値	54回			
			目標水準	150回			
実施計画	指標	ホームタウンチームによる出前スポーツ教室等の延べ実施回数	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			60回	80回	100回	120回	150回
実施状況			59回	83回	115回	167回	163回
達成状況	○	総括	ホームタウンチームによる出前スポーツ教室のマッチングを積極的に行い、目標を達成することができた。				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

番号	3-4		実施主体	スポーツ振興課			
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化						
事業名	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業						
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームゲームの運営体制を支えるボランティア活動の支援をするとともに、まちだサポーターズとも連携した取り組みを行う。 ・ホームゲームの会場への交通アクセス等に関する取り組みを支援し、その向上に努める。 						
事業目標	指標	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数	計画初期値	1,740人			
			目標水準	2,500人			
実施計画	指標	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
			2,100人	2,200人	2,300人	2,400人	2,500人
実施状況			2,342人	2,382人	2,404人	2,514人	2,908人
達成状況	◎	総括	ボランティア活動体制の整備・見直し等により、目標を達成することができた。				

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(2) 運営支援

番号	3-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保					
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の利用時間枠の見直し等により、全体の利用率を拡大し、ホームタウンチームの利用率も拡大する。 ・ホームタウンチームの自主的な練習施設確保の取り組みを支援する。 ・ホームタウンチームがスポーツ施設を利用する際の施設利用料等の負担を軽減させる。 					
事業目標	指標	事業の実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	→	実施		→	
実施状況	検討	一部実施	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	指定管理者と連携し、ホームタウンチームが円滑に施設利用できるように調整した。また、自主的な練習施設確保に向けて支援した。			

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(2) 運営支援

番号	3-6		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	サポーターの拡大					
事業名	ホームタウンチーム相互連携事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームで連絡・調整を図る「連絡会(仮称)」を開催し、相互に連携できる環境を整える。 ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームの連携した取り組みを支援する。 					
事業目標	指標	3つのホームタウンチーム合同による連携活動の取り組み数	計画初期値	—		
			目標水準	3回		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	連絡会の開催	1回	2回	3回	3回	
実施状況	協議の場の設定 2クラブによる共同企画実施	2回	3回	3回	3回	
達成状況	○	総括	ホームタウンチームの協力により、連携事業を実施し、目標を達成することができた。今後は、より効果的な連携方法について検討する。			

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働
(3) 広報・告知活動の充実

番号	3-7		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進					
事業名	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、ホームタウンチームのチームカラーを生かした広報物の設置等を行うとともに、町田市におけるスポーツの盛り上がりや魅力を発信する。 ・ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおいて、町田市の魅力を発信するコンテンツを充実させる。 					
事業目標	指標	ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおける町田市の魅力発信活動	計画初期値	JFL全試合実施		
			目標水準	他リーグへ拡充・コンテンツ充実		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	事業内容設計	実施			→	
実施状況	事業内容検討 一部実施	実施	実施	実施	実施	
達成状況	○	総括	ホームスタジアム、交通経路等の装飾など、スポーツの盛り上がりのPRに努めた。今後は、より一層効果的な方法を検討し、支援を継続する。			

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-1		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 参加国や関係各所への招致活動を行う。 選手やスタッフの宿泊場所を確保するため、関係団体と調整を行う。 市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする、機運の醸成を行う。 					
事業目標	指標	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致・ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致		計画初期値	—	
				目標水準	招致	
実施計画	招致活動	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	招致活動	招致活動	招致活動	招致活動	4ヶ国	
達成状況	○	総括	ラグビーワールドカップ2019ではナミビア代表、東京2020大会ではインドネシア・中国・南アの3ヶ国、合計4ヶ国の招聘に成功した。			

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-3		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業					
取り組み内容	ラグビートップリーグで活躍するキャノンイーグルスの試合を陸上競技場で開催してもらえるようにキャノンイーグルス及び日本ラグビーフットボール協会に対して誘致活動を行う。					
事業目標	指標	大会開催		計画初期値	—	
				目標水準	大会開催	
実施計画	誘致活動 大会開催	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動	誘致活動 大会開催	
達成状況	○	総括	誘致活動を行い、3試合の大会開催を行った。			

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-2		実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致					
事業名	全国大会等誘致事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種の全国大会等の公式試合を町田市で開催してもらえるように大会主催者やクラブチームに対して誘致活動を行う。 バドミントン日本リーグ・NBL(ナショナルバスケットボールリーグ(日本))・bjリーグ(日本プロバスケットボールリーグ)・全国高校サッカー選手権大会等 					
事業目標	指標	大会開催		計画初期値	—	
				目標水準	大会開催	
実施計画	誘致活動 大会開催	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	誘致活動 大会開催	
達成状況	○	総括	全国大会及び国際大会など新規開催を含め実施した。			

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

番号	4-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討					
事業名	競技スポーツの場の整備					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館の得点表示板の更新を行う。 総合体育館に大型バス乗降場を整備する。 室内プール(50mプール)のコースロープを一新し、公認を受ける。 室内プールの電光表示システムを更新する。 総合体育館に大型映像装置を整備する。 陸上競技場に大型映像装置の整備と観客席の増設を行う。 					
事業目標	指標	競技スポーツの場の整備		計画初期値	—	
				目標水準	整備	
実施計画	総合体育館得点表示板更新・室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
実施状況	実施	検討	実施 検討	実施 検討	実施	
達成状況	△	総括	総合体育館大型バス乗降場整備、陸上競技場大型映像装置整備は完了した。陸上競技場観客席増設については実施設計を行い、総合体育館大型映像装置設置については来年度設置する。			

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
(2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-5		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化				
事業名	体育協会等との情報共有の強化				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。 体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。 				
事業目標	指標	体育協会との業務連携	計画初期値	実施	
			目標水準	強化	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	優先受付取扱基準の見直し検討、各団体からの要望への対応検討・実施		施設利用優先受付業務の実施・改善		
実施状況	優先受付業務実施・見直し検討	施設利用優先受付業務の実施・改善	施設利用優先受付業務の実施・改善	施設利用優先受付業務の実施・見直し	施設利用優先受付業務の実施・見直し
達成状況	○	総括	体育協会と連携し、情報共有に努めた。今後も、透明性・公平性が確保されるような施設利用優先受付業務になるよう検討を継続する。		

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
(2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-7		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	大学との協定の締結[再掲]				
事業名	[再掲]スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。 地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。 				
事業目標	指標	市の事業と連携する大学数	計画初期値	—	
			目標水準	3大学	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	制度設計・調整			新規1大学(計1大学)	新規1大学(計2大学)
実施状況	検討	検討	新規2大学(計2大学)	新規1大学(計3大学)	3大学
達成状況	○	総括	3大学と連携した取り組みを行い、目標を達成することができた。今後は、構築した関係性を継続し、スポーツに関わる人材育成連携に努める。		

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
(2) 競技スポーツの連携強化

番号	4-6		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり[再掲]				
事業名	[再掲]スポーツボランティア活性化事業				
取り組み内容	スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。				
事業目標	指標	「まちだサポーターズ」年間延べ活動人数	計画初期値	—	
			目標水準	1,200人	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		600人	750人	900人	1,050人
実施状況		2,000人	2,500人	2,300人	2,788人
達成状況	◎	総括	国体終了後にボランティア活動をした人々と、ボランティア活動をしてほしい団体とを結びつけることがスムーズにできるようになり、毎年右肩上がりで活動人数も増えている。		

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり
(3) 障がい者スポーツの活性化

番号	4-8		実施主体	スポーツ振興課	
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供				
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致				
取り組み内容	障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケットボールの大会など障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。				
事業目標	指標	障がい者の競技スポーツ大会開催数	計画初期値	1大会	
			目標水準	2大会	
実施計画		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		2大会			
実施状況		2大会	2大会	3大会	3大会
達成状況	◎	総括	<ul style="list-style-type: none"> 7月上旬 関東パラ陸上選手権大会 8月中旬 全国車椅子大学選手権大会 9月下旬 パラバドミントン国際大会 11月上旬 フラインドサッカー国際親善試 		

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-9		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化					
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの市内スポーツイベントへの積極的な出演を促進する。 ・小学生、働く世代、高齢者等、世代ごとのミニ「スポーツアワードまちだ」を開催する。 ・ホームページ、SNS、紙媒体などの積極的活用や新聞、テレビなどのマスメディアへの積極的なPRを行うことで、トップアスリートとの交流機会の周知を強化し、市民の参加を促進する。 					
事業目標	指標	トップアスリートとの交流機会の回数		計画初期値	年1回	
				目標水準	年3回	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→		年2回	→	
実施状況	企画	年2回	年3回	年3回	年3回	年3回
達成状況	○	総括	町田市こどもマラソン大会で、町田市出身のオリンピック選手から大会に参加する小学生に向けた激励のメッセージ動画を放映できた。			

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-11		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実					
事業名	表敬訪問事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討する。 ・出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、また、その競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討する。 ・出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討する。 					
事業目標	指標	表敬訪問実施数		計画初期値	25回	
				目標水準	35回	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	25回	→		30回	→	
実施状況	17回	14回	25回	30回	11回	
達成状況	△	総括	表敬訪問の受け入れ基準が明確でなかったため、事業の周知が難しく、目標を達成できなかった。今後は、表敬訪問の受け入れ基準に基づき、事業を継続していく。			

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-10		実施主体	指定管理者 町田市体育協会		
推進施策	【重点施策】トップアスリートとの交流の活性化					
事業名	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業					
取り組み内容	競技団体やホームタウンチームと連携し、トップアスリートが出演、参加するイベントを実施する。					
事業目標	指標	事業の実施		計画初期値	—	
				目標水準	実施	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	イベント実施	→			→	
実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施
達成状況	○	総括	指定管理者の創意工夫により、トップアスリートとの市民の交流事業を行った。			

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度、奨励制度等の活性化

番号	4-12		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実					
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業					
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給する。 ・スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱を見直す。 ・より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討する。 					
事業目標	指標	祝金支給件数		計画初期値	85件	
				目標水準	150件	
実施計画	2014年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	85件	120件	130件	140件	150件	
実施状況	92件	85件	88件	93件	70件	
達成状況	△	総括	事業の位置づけが明確でなかったため事業の周知が難しく、目標を達成できなかった。今後は、スポーツの多様化、社会情勢の変化に対応するように事業の検討を行う。			

施策5：スポーツのまちづくり
 (1) スポーツ・ツーリズムの推進

番号	5-1		実施主体	一般社団法人町田市観光コンベンション協会 産業観光課観光まちづくり課		
推進施策	スポーツ・ツーリズムの連携促進					
事業名	スポーツ・ツーリズム実施事業					
取り組み内容	・ホームタウンチーム応援ツアーの企画 ・旅行代理店へのPR ・スポーツイベント等における観光PR					
事業目標	指標	ツアー実施	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	→
			企画・実施			
実施状況	実施	実施	未実施	未実施	未実施	
達成状況	△	総括	2014・2015年度に観光コンベンション協会主催のホームタウンチーム応援ツアーを実施したが、採算面の課題があり、2016年度以降の実施を見送った。			

施策5：スポーツのまちづくり
 (2) 公園等におけるスポーツ施設の充実

番号	5-2		実施主体	公園緑地課		
推進施策	【重点施策】野津田公園におけるスポーツ施設整備					
事業名	第二次野津田公園整備基本計画推進事業					
取り組み内容	第二次野津田公園整備基本計画に基づき、スポーツ施設の整備を進める。当年度は、2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地招致を目指し、既存の陸上競技場と併せて必要な人工芝の多目的グラウンドの整備と、施設稼働率が85%を超え、人気の高いテニスコートの整備を進める。					
事業目標	指標	野津田公園内におけるスポーツ施設整備箇所数	計画初期値	—		
			目標水準	2箇所		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	→
			用地測量	都市計画決定 用地買収	基本設計 実施設計	
実施状況	用地測量	用地取得交渉	用地取得交渉	用地取得及び基本設計の一部完了	一部用地取得完了、実施設計完了	
達成状況	△	総括	拡張区域(都市計画区域内)のグラウンド及びテニスコートの実施設計をほぼ完了したが、目標を達成することができなかった。			

施策5：スポーツのまちづくり
 (3) 広域スポーツのブランド化

番号	5-3		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	市民マラソン等の活性化					
事業名	武相マラソン大会支援事業					
取り組み内容	広報、ホームページ、その他メディア等を通じて、武相マラソン大会に関する情報発信・PRを強化する。					
事業目標	指標	参加者数	計画初期値	2,000人		
			目標水準	3,000人		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	→
			2,500人	2,750人	3,000人	
実施状況	1,700人	1,860人	1,840人	2,286人	1,800人	
達成状況	△	総括	参加者数は増加傾向にあるが、目標値は達成しなかった。今後も引き続き情報発信・PRを強化し、大会の活性化を図る。			

施策5：スポーツのまちづくり
 (4) 公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化

番号	5-4		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	ユニバーサルデザインの推進					
事業名	既存スポーツ施設のバリアフリー改修					
取り組み内容	・トイレ改修工事 ・サイン改修工事 ・障がい者の競技スポーツ大会開催のための施設整備 ・利用者の要望を取り入れた小規模なバリアフリー改修工事					
事業目標	指標	改修工事実施施設数	計画初期値	—		
			目標水準	3施設		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	→
			改修計画の検討、営繕課との調整	学校温水プール、木曽中管理事務所のサイン改修実施	営繕課の修繕計画に合わせてトイレ・サイン工事実施 小規模バリアフリー改修	
実施状況	検討・一部実施	検討	検討	1件工事 1件設計	1件工事	
達成状況	△	総括	トイレの洋便器化を進め、目標を達成することができた。今後も、施設の大規模改修に合わせて積極的にバリアフリー回収を進める。			

施策5：スポーツのまちづくり
(5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-5		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツフォーラム活性化事業					
取り組み内容	市民がより参加しやすい形でのスポーツフォーラムの開催 ・フォーラム内容のフォローアップをホームページで実施					
事業目標	指標	スポーツフォーラムの見直し	計画初期値	—		
			目標水準	実施		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	検討	→	見直し 実施		→	
実施状況	検討	検討	検討	未実施	未実施	
達成状況	△	総括	事業効果がわかりにくい、制度設計に至らなかった。次期計画では、事業の在り方も含めて検討する。			

施策5：スポーツのまちづくり
(5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-6		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習ポータルサイト構築事業					
取り組み内容	講座・講演会情報、活動団体情報、人材情報などの様々な学習情報を手軽に入手できるホームページ(生涯学習ポータルサイト)を構築する。					
事業目標	指標	生涯学習ポータルサイトの構築	計画初期値	—		
			目標水準	構築・稼動(2015年度)		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	運用ルール の検討	ポータルサイト の構築・稼 動	運用	検証	運用改善 実施	
実施状況	検討	投稿型アプリ の 調査・研究	検討	子育てサイト を使用した情 報発信	検討	
達成状況	△	総括	生涯学習ポータルサイトの構築には至らなかったが、新たな情報発信手法の検討を行ったことによって、既存のサイトとの連携による効率的な情報発信を行うことができた。			

施策5：スポーツのまちづくり
(5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-7		実施主体	生涯学習センター		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	生涯学習NAVI					
取り組み内容	市内もしくは近隣地域で開催され、市民が参加できる講座・講演会、イベントなどの情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAVI」を発行する。					
事業目標	指標	生涯学習NAVIの配布施設数	計画初期値	65施設		
			目標水準	100施設		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	65施設			→	100施設	
実施状況	96施設	97施設	97施設	98施設	100施設	
達成状況	○	総括	内容の充実を図るとともに、配布施設数の拡大に取り組み、目標を達成することができた。また、他課主催のイベントで積極的な配布活動を行い、広く情報発信を行うことができた。			

施策5：スポーツのまちづくり
(5) スポーツ情報発信力の強化

番号	5-8		実施主体	スポーツ振興課		
推進施策	【重点施策】総合的なスポーツ情報発信力の強化					
事業名	スポーツ情報発信・広報支援事業					
取り組み内容	・ホームタウンチーム・アスリートの活動情報を町田市ホームページや広報まちだ、市政情報モニター「まちビジョン」、シティセールス(CS)コーナーに掲載する。 ・ホームタウンチームの広報誌やPRポスターを市内各施設・小中学校、掲示板に配布・掲示する。 ・情報誌「スポまち キッズ！」をSportsまちだホームタウン協議会と協働し、作成・発行する。 ・総合体育館情報コーナーの有効活用及び他スポーツ施設の情報コーナーの整備を行う。					
事業目標	指標	ホームページでのア スリート情報発信件数	計画初期値	134件		
			目標水準	190件		
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
	150件	160件	170件	180件	190件	
実施状況	128件	35件	20件	16件	11件	
達成状況	△	総括	ホームページでの情報発信方法を見直したため、件数は減少したが、様々な手段で情報発信を行った。			